

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

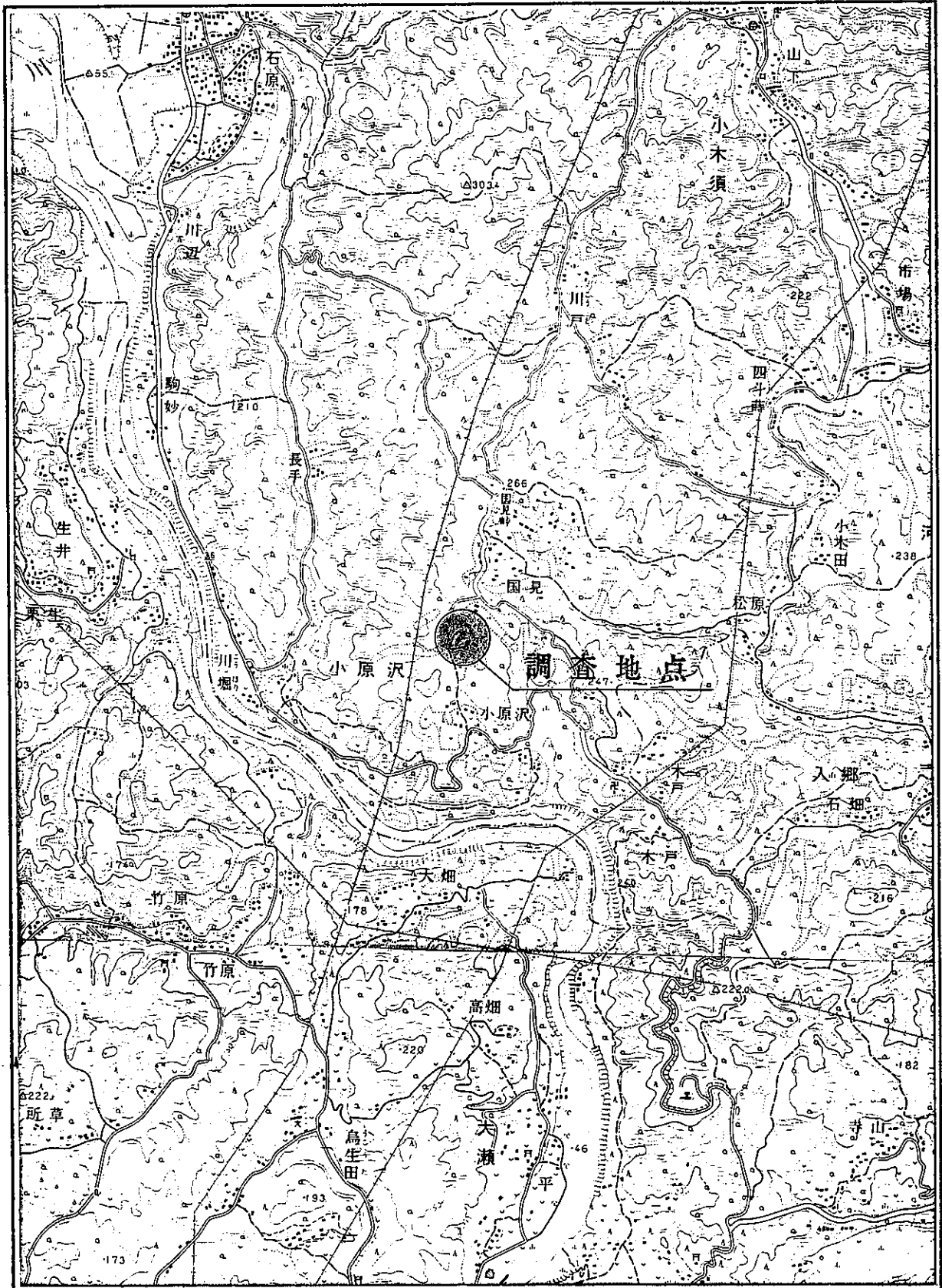
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

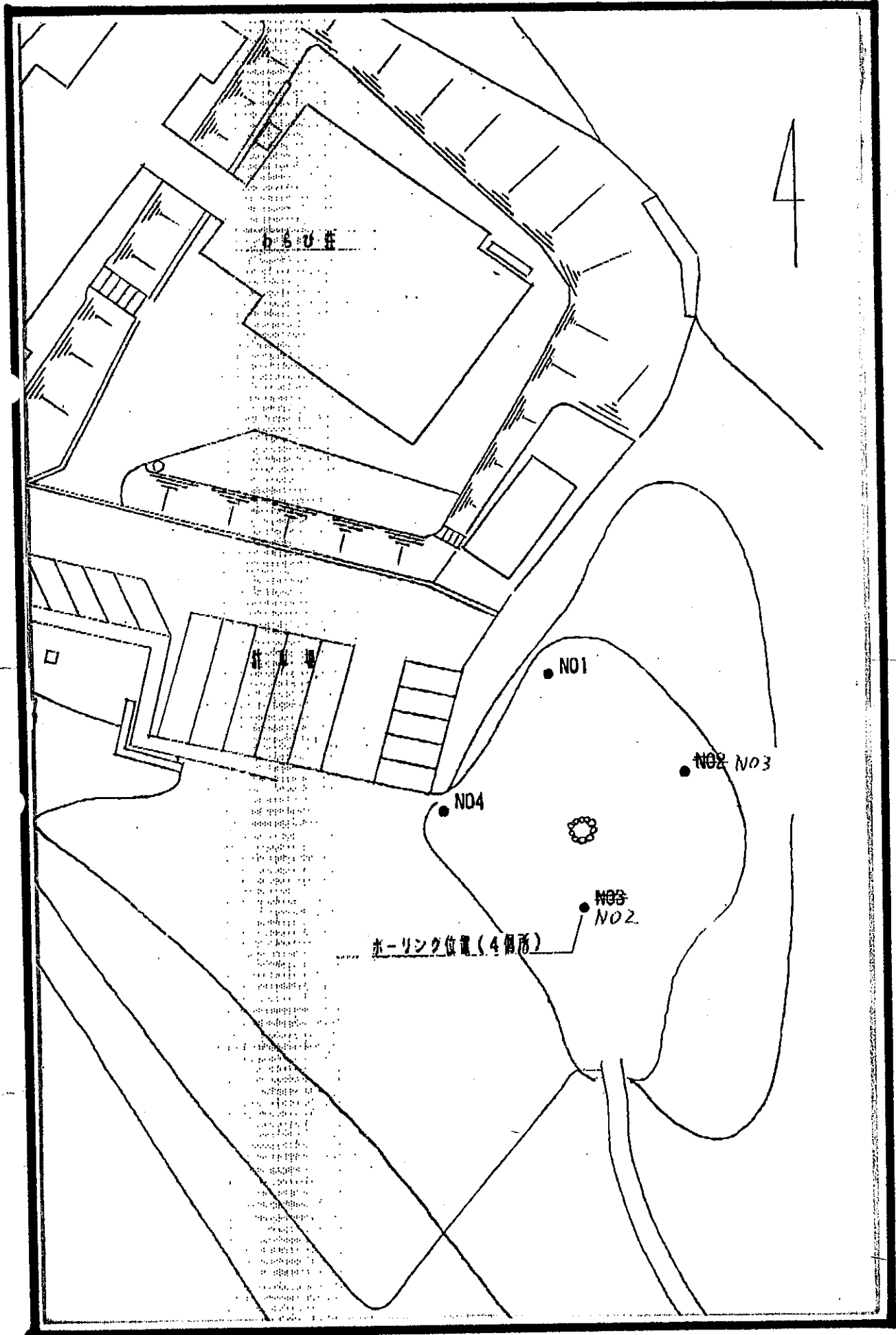
調査地案内図

縮尺 1:25000



平面位置図

縮尺 1:500



ボーリング柱状図

調査名 国見ビジターセンター(仮称)新築工事

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2	調査位置	島山町小原沢地内			北緯						
発注機関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	平成 6年12月24日 ~ 6年12月27日		東経					
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者					
孔口標高	0.452m	角	180° 上 0°	方	北 270° 西 90° 東 180° 南	地盤公配	使用機種	試錐機	KR-100	ハンマー	落下用具	コーンブリー
総掘進長	13.20m	度	90°	向	水平	鉛直	エンジン	NS-8		ポンプ		VP-5

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験		採取方法	掘進月日	
											深	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N値	深	試験名および結果			
	0.25	0.20	0.20	表土	黒茶褐色	軟らかい			上部土中の植物根混じる 火山灰質粘土 上部土中の植物根混じる 含水率が多い 深度1.3~1.4m付近に軽石層を挟む不均質な層相を呈す		1.15	1	2	2	1.15	1	○		
1	-1.05	1.30	1.50	ローム	茶褐色	軟らかい					1.45	10	10	40	2	1.45	2	○	12/24
2				玉石混じり砂礫	暗灰	密な			粒径Max100~200mm程度大礫を介し、径30~60mm程度の亜円礫~亜角礫が主体 深度4.0m付近、100mm程度の玉石を多く混じる 以深、下部に従い岩片等多く混じる不均質な層相を呈す		2.15	25	5	50	3	2.15	3	○	
3											2.45	20	3	23	4	2.45	4	○	
4											3.15	50	8	8	5	3.15	5	○	
5	-4.75	3.70	5.20								3.38	貫入不能	50	0	6	3.38	6	○	
6											4.15	50	8	8	7	4.15	7	○	
7											4.23	貫入不能	50	0	8	4.23	8	○	
8											5.15	貫入不能	50	0	9	5.15	9	○	
9											5.15	貫入不能	50	0	10	5.15	10	○	
10											6.15	50	8	8	11	6.15	11	○	
11											6.21	貫入不能	50	0	12	6.21	12	○	
12											7.15	50	8	8	13	7.15	13	○	12/26
13											7.23	貫入不能	50	0		7.23		○	
14											8.15	貫入不能	50	0		8.15		○	
15											8.15	貫入不能	50	0		8.15		○	
16											9.15	50	4	4		9.15		○	
17											9.19	貫入不能	50	0		9.19		○	
18											10.15	50	2	2		10.15		○	
19											10.17	貫入不能	50	0		10.17		○	
20											11.15	貫入不能	50	0		11.15		○	
21											11.15	貫入不能	50	0		11.15		○	
22											12.15	貫入不能	50	0		12.15		○	
23											12.15	貫入不能	50	0		12.15		○	
24	-12.75	8.00	13.20								13.15	貫入不能	50	0		13.15		○	12/27
25											13.15	貫入不能	50	0		13.15		○	

ボーリング柱状図

調査名 国見ビジターセンター（仮称）新築工事

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 3	調査位置	鳥山町小原沢地内			北緯	
発注機関	栃木県大田原土木事務所		調査期間	平成 7年 1月 5日～ 7年 1月 7日		東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コ ア		ボーリング責任者	
孔口標高	0.694m	角度	180° 上 90° 下	方 向	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	試験機	K R - 1 0 0
総掘進長	12.50m	度	90°	地盤勾配	水平	ハンマー 落下用具	コンプリー
				使用機種		エンジン	NS - 8
						ポンプ	vp - 5

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験		採取方法	室内試験 (掘進月日)
										深 度 (m)	10cm 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深 度 (m)		試験名および結果			
0.49	0.20	0.20	表土	黒褐色				上部植物根混じる 含水中位～多い やや不均質な層相を呈す		1.15	1	1	3	30		1	◎	
-0.31	0.80	1.00	ローム	茶褐色				火山灰質粘土 全体に植物根・有機物混じる 下部に硬い軽石層の粒を多量に混じる		1.45	4	4	12	30		2	◎	
-1.81	1.30	2.50	軽石	黄褐色	非常に硬い			軽石 3mm程度 高き水位である 上部全体に強風化帯びる 不均質な層相を呈す		2.45	9	5	21	30		3	◎	
-4.01	2.20	4.70	ローム	茶褐色				全体に粘性に富む 含水中位～多い 上部に硬い砂層を呈す 下部に硬い砂層を呈す		3.45	50	7	50	7		4	◎	
			左右混じり砂	暗灰	中位～密な			粒径 max 100～200mm程度 の大粒を介在し 30～60mm程度 の曲角礫～角礫が主体 下部に硬い所々 100～200mm の玉石を多く混じる 以深下部に硬い岩片を多く混じる 不均質な層相を呈す		5.15	貫入不能		50	0		5	◎	
				岩盤	暗灰～暗緑灰			上部全体に強風化帯びる 上部硬い岩片も採取されるが細礫状 コアが主で岩片状コアも存在するが 風化のため柔らかい 深度6.0m付近より岩質は硬く新鮮 で比較的長い棒状コアが採取される		6.15	貫入不能		50	0		6	◎	
										7.15	貫入不能		50	0		7	◎	
										8.15	貫入不能		50	0		8	◎	
										9.15	貫入不能		50	0		9	◎	
										10.15	貫入不能		50	0		10	◎	
										11.15	貫入不能		50	0		11	◎	
-11.81	7.80	12.50								12.15	貫入不能		50	0		12	◎	

ボーリング柱状図

調査名 国見ビジターセンター(仮称)新築工事

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 4	調査位置	鳥山町小原沢地内			北緯	
発注機関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	平成 7年 1月 7日 ~ 7年 1月 10日		東経
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	0.240m	角	180° 上 90° 下	方	北 270° 西 180° 南 東	地盤公配	使用機種
総掘進長	12.50m	度		向		鉛直	試錐機
						水平	エンジン
							KR-100
							NS-8
							ハンマー 落下用具
							ポンプ
							コーンブリー
							VP-5

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠密度	相対密度	記	標準貫入試験				原位置試験		採取方法	室内試験	掘進月日		
									深	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値	深	試験名および結果					
				表土	暗黒褐色			上部全体に植物根混じる 含水中位~多い やや不均質な層相を呈す	1.15	1	1	2	4	30	4	1.15	1	○	
				ローム	茶褐色 黄褐色			火山灰質粘性土 全体に植物根多量にまじる 含水中位~多い 深度1.1~1.2mまで薄く軽石を挟む 不均質な層相を呈す	1.45							1.45			
									2.15	1	1	2	30	2	2.15	2	○		
									2.45						2.45				
									3.15	3	2	4	9	30	3.15	3	○		
									3.45						3.45				
				玉石混じり砂礫	暗灰			礫径Max100~200mm程度の 大礫を介在し径30~60mm程度 の面円礫~面角礫が主体 下部に従い径100~200mm程度 の玉石を多く混じる 以深岩片多量に混じる	4.15	7	7	8	22	30	4.15	4	○		
									4.45						4.45				
									5.15	貫入不能					5.15	5	○		
									5.15						5.15				
									6.15	50	5	50	5		6.15	6	○		
									6.20						6.20				
									7.15	貫入不能					7.15	7	○		
									7.15						7.15				
									8.15	貫入不能					8.15	8	○		
									8.15						8.15				
									9.15	貫入不能					9.15	9	○		
									9.15						9.15				
									10.15	貫入不能					10.15	10	○		
									10.15						10.15				
									11.15	貫入不能					11.15	11	○		
									11.15						11.15				
									12.15	貫入不能					12.15	12	○		
									12.15						12.15				